

# 京交山岳部報

| 例会・行先   | 日程・集合   | 担当者   | コース  |
|---|---|---|--|
| <b>第2007回★★</b><br>白山・別山  | 8/1(月)～4(木)<br>8/1 PM9:30<br>壬生厚生会館前              | 吉田 武<br>(梅津654)                                       | マイカー利用。  |
| (コース) 1日 京都-別当出合(仮泊)<br>2日 別当出合-…南竜ヶ馬場(周辺散策後泊)<br>3日…南竜ヶ馬場…白山剣ヶ峰往復…南竜ヶ馬場(泊)<br>4日 南竜ヶ馬場…別山往復…帰洛 |   |   |  |
| <b>第2008回★★</b><br>「十二支の山」<br>犬ヶ丈山(522m)と<br>真妻山(523.4m)  | 8/23(火)～24(水)<br>8/23 AM6:00<br>京都駅八条口観光バスの<br>り場 | 大倉寛治郎<br>(検車区3371,<br>(642-4332))                     | 地図 5万図 川原河<br>マイカーで行きます。テ<br>ト泊で夏の星座を見て一夜<br>を過ごします。 |
| (コース) 名神南IC～海南～御坊～中津村～犬ヶ丈山～(泊)～真妻山～西山～海南～名神南<br>IC～京都駅八条口                                       |   |   |  |
| <b>今月の集会</b><br>日時 8月10日(水)PM6:30<br>場所 厚生会館 4F 大教室   |   | <b>企画運営委員会</b><br>日時 8月22日(月)PM6:30<br>場所 厚生会館 4F 大教室 |  |

## 45周年記念登山「北海道(道東の山旅)」の中止について

2000回記念登山として、上記の山行を計画しておりましたが、諸般の事情により中止せざるを得ない状況となりました。

なお、代替山行として、11月頃に記念登山を計画しており、その詳細については、次号にてお知らせいたしますので、よろしくお願ひします。

担当者 鷲見 敏一(689), 吉田 武(654), 井戸 澄夫(734)

## 空 梅 雨

岡 田 茂 久

いつのまにか、今年の梅雨は平年より10日前後も早く明けてしまっていた。梅雨明け宣言も逆上って発表されるなど、気象庁としては昨年に引き続きどうも締まらないことであった。昨年はジメジメと長雨がいつまでも続き、ついに梅雨明け宣言の時期を逸してしまったうえ、夏は40年ぶりといわれる冷害の年となってしまった。おかげで国民総生産（GNP）が冷夏のために0.15%は下がってしまったといわれている。今や、天候によって景気が左右されるのは常識であり、「気象経済学」は新時代の学問として注目されている。観天望気は登山だけでなく商売にも大事なこととなってきている。

今年3月に発表された温暖期予報では、東経137度の赤道近辺の定点観測地点の海水温度から、昨年に引き続き梅雨の長雨と冷夏となる恐れがあるという長期予報であった。しかし、案に相違して空梅雨で、奈良、和歌山の紀ノ川水系や四国地方などは時間給水制限までされるほど逼迫している。例年なら祇園祭りは梅雨の末期にあたり、空模様が気になるところであるが、連日のようにかんかん照りの酷暑が続き、佐賀県などでは最高気温39.7度を記録、西日本を中心に各地で体温を超える最高気温38度以上の地方が続出した。日照りに不作なしといわれ、米は豊作が約束されたようだが、つい2週間前には、豪雨で沢登り例会が流れたというのに、近所の溝でオタマジャクシや、畑ではキュウリやナスが干乾びてきているのを見ると心配になってくる。先般、気象庁の短期の天気予報は随分に精度は良くなったと書いてみたが、長期の天気予報はまだまだのようである。もっとも空梅雨も酷暑も気象庁のせいでは無いんだが。

酷暑ともなると特に水の有難みをつくづく感じるものであるが、我々は水はただという感覚からなかなか抜け出せないでいる。ところが、今年のお中元にはビールや清涼飲料水とともに、各地の名水が引っ張りだこだそうだ。かつては名水はその地方に行かなければ飲めないものであったが、今や、スーパーや自動販売器でも南アルプスの水も、六甲の水も谷川岳の水も簡単に手に入るようになった。かつては山の土産に水をテルモスに詰めて帰り、コーヒーや水割りを楽しんだものである。しかし、名水も金を出せば簡単に買えるようになり、元々は無料の水の値打ちが上がったのか下がったのか、少なくとも希少価値が下がったことは確かであるが、水はただでは無いということを再確認するにはいい機会である。

希少価値といえば、しばらく前までは珍しかったホタルも、各地で「ホタルの里」と銘打ち町起こしの一環としていたる所で増えてきている。ホタルは美しい水のある証であり喜ばしいことだが、昨年、まるでイルミネーションの中を潜っていく感があったほど、ホタルが乱舞していた亀岡の某所は、今年はさっぱりであったようである。空梅雨のせいか、局地的にホタルが増え過ぎると、周囲の生態系のバランスが崩れ減少するという自然の仕組みのせいであろうか。

暑さも長雨も水もホタルの里も、なにごとともほどほどがよいようである。

## 弥山・八経ヶ岳

井戸澄夫

(1日目) 国道309号は山上ヶ岳の入口の川合までは、まだ巾が広いが、それから先はすれちがいでできないほど狭く曲がりくねり、断崖絶壁に吸い込まれていきそうになる。行者還トンネル西口の駐車場にはすでに20台くらいの車が置かれていた。大半が弥山・八経ヶ岳への日帰り組と思われる。ここまで車でくれば、近畿の最高峰八経ヶ岳も3時間程の登高で達してしまうのである。我々は弥山小屋で一泊する予定なので、朝はゆっくりと集合し、昼前に登山口に着いた。梅雨にはいり、天候も不安定になっており、予報では、今日はなんとかもつが、明日はあやしいとのことである。

蒸し暑い中、すぐさま尾根の急登となり、大汗をかきながら50分程登ると大峰山脈の主稜——山上ヶ岳から大普賢岳、八経ヶ岳、仏生岳、釈迦岳、大日岳と続く奥馳ヶ道に出る。ここで早速、山伏姿の若者(30才前後)に出会った。例の白装束に地下足袋、額には小さな帽子のようなもの(名前は知らない)で、手には六角の杖をもっているのだが、背中にはMilletの大きなザック、腰にはウエストポーチをしているので、思わず吹き出しそうになったが、聞けば、奥馳ヶ修業はハードなので、伝統の衣装に実用的近代装備を付加しているという若者らしい合理的な答であった。

ここからしばらくはゆるやかな尾根道となり、弥山への登りでまた急登となる。途中、理源大師の像があったが、理源大師は醍醐寺の開祖ではなかったのかなと思ひ出し、はるばる大峰の山奥でも修業されたのだなど、旧知に出会ったような気になった。

弥山小屋は増築の最中で、ブルドーザーが動きまわっていた。宿泊の手続きをして、天気のようにちに八経ヶ岳に登ってしまうことにした。弥山から見る八経ヶ岳はさすがに立派な姿で、なだらかな斜面はトウヒ・シラバの原生林で覆われ、優美な気品をたたえている。八経ヶ岳は八剣山、仏経ヶ岳ともいい、役の行者が法華経8巻を埋めたという伝説が山名の由来であるとのことである。

10分程下ってから20分程登り、山頂に着いた。1914.9m近畿の最高峰である。あいにくの曇り空で、眺望もいまひとつであったが、山々の連なりは深く幽遠として歴史の重みを感じさせるものであった。暫時休息したが、ブヨが多く、小生と堀田君はタバコをふかして撃退したが、清水君は半そでシャツだったので、二の腕を相当噛まれてしまった。

弥山小屋では皇太子が来たときに新築したという小屋で泊まった。皇太子は相当の健脚であると宿の主人は語っていた。途中出会ったリュック姿の若い山伏もいっしょに夕食となったが、これ以上粗末な食事はないというぐらゐの質素なものであった。(宿料6,000円)山伏は胡麻の泡だとかいってビールをジャンジャン飲んでた。

(2日目) ゆっくり起床し、小雨のなか、登山口まで2時間程で下り、洞川にできた町営温泉

で汗を流して帰路についた。

“奥馳ける 古人の 思ひのせ  
なだ 緩らに延びる 八経の尾根”

澄夫

【参加者】 井戸澄夫, 清水康裕, 堀田 剛 (部員外)

【コースタイム】

6/11 (国道24号) - (169号) - (309号) 川合 - 12:00……行者還トンネル西口  
12:30……13:30 奥馳け道……14:00 弁天の森……15:30 弥山小屋 15:45……  
16:15……八経ヶ岳 16:25……16:50 弥山小屋 (泊)  
6/12 弥山小屋 8:00……10:00 トンネル西口 —— 洞川温泉 —— 帰路

## 200名山 白砂山, 佐武流山

洛西 服部正義

5月の大型連休も後半, この時期をはずすと深いヤブコギを強いられる佐武流山に焦点を合わせ, 白砂山もついでに登らせてもらおうと, 少し強行スケジュールだが, 5月5日, 3泊4日の予定, 午後勤務終了後, 帰宅して4時間ぐっすり眠り, AM3時14分, 亀岡を出発。京都東I.Cから名神, 中央ロード, 諏訪I.Cで下りて, R.299で麦草峠に到着して麦草ヒュッテ横から八ヶ岳, 西天狗岳(2,645.8米)に登り, 佐久市R.18 軽井沢町からR.146 長野原町, 六合村から尻焼温泉(入場500円)に入湯して野反湖バス駐車場に駐車して, 夕陽に染まる野反湖湖畔でビールを飲みながら夕食を済ませ満天の星空を拝み, PM7時20分, NHKの天気予報等を聞き, 目覚時計をAM4時にセットして, シュラフにもぐり込んで眠る。

白砂山(2,139.7米) 佐武流山(2,191.5米) (5月晴)

5月7日, AM4時時計の音で飛び起きて「みやげもの屋」の水道を借りて顔を洗い, 本日の長時間山歩きにそなえて, カロリーを考えて, 十二分に腹拵らえして, 登山七つ道具を点検, 八間山(1,934.5米)山頂からの三日月に見送られ, AM4時28分出発, バス停からR.405(県道が国道に昇格)を0.1km位い戻ると左側に白砂山のプレートと村が建立した黒い御影石に皇太子殿下が登山された記念碑横から白砂山に向かって第一歩を進める。

快晴の中, 笹原の道を登って行き, ハシノ木沢に下り, 丸太橋で沢を渡り少し登って行くと右

の小さな沢でミネラル豊富な水を3ℓ補給して地蔵峠へと登って行くと分岐点に着く。(AM5時7分着)

右手(南側)の広い山径へ行くと、小さなトタン屋根の下に、赤いチャンチャコを着せてもらっている地蔵様、山径も行止まりで、分岐、左側は和山・功明方面、尾根(右側)に登って行くと白砂山方面への白いプレートが立っている。

峠から堂岩山に向って、尾根の北側(トラバス状の登山道)を少し登って行くとP.1,802米で少々展望が開け、野反湖、岩菅山、草津白根山、浅間山が望む所でカメラを出して野反湖等々を撮り、15分位い歩くと浅雪、この附近から白砂山登山道も残雪の為消えてテープ、赤い布切れ等に注意するが無いので、尾根上の残雪に登ると、2日前位いに登った足跡を見つけ安心は出来ないが気分的に楽になり、足跡を追いながらピッチを上げ登って行くと、堂岩山のピークに立つ。(AM6時33分着)

ピークでまず最初に白砂山、その左側の佐武流山に注目、天候もOK、目測で佐武流山ピストン出来ると決断して、AM6時45分、水分補給して堂岩山を少し下ると八間山からの径、正面の白砂山、左手の佐武流山、鳥甲山、岩菅山を見ながら足元に注意しながら、二つピークを越え、急登尾根を登り肩を登り詰めると、残雪の山頂、白砂山。(AM7時36分着)(7時45分出発)

三角点、プレートも雪の下、山頂で、佐武流山、苗場山、鳥甲山をバックに入れて記念写真を撮り、少し下ると、いよいよ佐武流山への左側への尾根に取りつき、沖ノ西沢の頭(2,035.9米)までは雪稜の歩き、後を振り返って白砂山を見ると、双峰の姿、また違った山容をカメラに収め、一登りすると、沖ノ西沢の頭のピークに登り着く。(AM9時31分着)

ピーク東面雪庇のくぼみにテント、二張、声を掛けるが返答無、佐武流山も手の届く所まで近付くが。好天の為残雪がゆるんできたので、スパッツ、アイゼンを付け、一気に鞍部までかけ下って、東面が切れ落ちた稜線を二ヶ所注意しながら雪庇の上を直登すると、木にうちつけた青色のブリキに書いた赤穂<sup>かどよや\*</sup>山のピークに登る。(AM10時9分着)

待望の佐武流山が目前、はやる気持を押さえながら、山姿をカメラに収め、又、一ヶ所、切れ落ちた雪稜を無事通過、P.2,107米を登り、最後肩を直登して再度登ると4名の知らぬ人達の拍手で迎えて頂いて、遂に佐武流山山頂にピッケルを立てる。(AM11時18分)

秘峰、笈ヶ岳に次で、佐武流山も二度とこれないかも知れないので十二分に山頂からの展望を満喫、登頂記念を撮り、先着の日本山岳会N支部4名の人達とビールで乾杯して昼食をしながら、日本全国の山々峰々、そして温泉のお話であつという間に40分がすぎる。(山頂発PM0時00分)

4人組は又、沖ノ西沢ノ頭でもう一泊との事で、小生は本日中に野反湖迄下山の為、先に下山する。

5月晴で温度も上り、下山は安全を考え、雪庇歩きしない様に雪稜の方を取る様にして沖ノ西沢ノ頭迄戻る。(山頂着14時17分)

残雪がゆるんでいるので登山靴がくい込んで重くなってくるが、正面の白砂山を見ながら白砂山々頂へ無事戻る。(山頂着15時49分)

白砂山から往路下山，野反湖駐車場へ，18時08分に帰って，尻焼温泉でもう一度，入湯の為直行，今回は川原の野天風呂（入湯100円，夜間静かに入れば無料）に入湯して，厳しさとまどいながら登った白砂山，佐武流山を思い浮べ汗を流す。

5月8日，尻焼温泉を早朝出発して横手山，笈ヶ岳，戸隠山へ足を伸ばし，途中，姫川温泉に入湯，青海町の食堂で用を済ませ，5月9日，天気予報で又新潟県地方5月晴との事，糸魚川市青海町，電化（セメント工場）鉾山の県道広場で一夜を明かす。

青海，黒姫山（1,221.5米）一等三角点補点（5月晴）

連絡無しで，黒姫山鉾山担当係長の出勤（AM7時00分）を待ち，6時50分出勤されてこられたので，お願いして登山OKを頂戴して，そしてまだ会社の4WDで登山口まで送ってもらい，下車時にビール3本座席に置き，アイゼン，スパーツを持ち歩きだすとクマがいるから注意して登って下さいと言って，最後に12時00分にダイナマイトを爆発させるからと下山時刻をAM11時30分と言っておくと，登山口まで迎えに来て頂き，この時節，ちょっと考えられない青海黒姫山登山でした。

また，黒姫山登山計画の方は，黒姫山鉾山担当係長北村様へ，（京都市交通局山岳部，一等三角点研究会）服部で提出。

## 例会報告

| 例会No | 目的地     | 月日            | 天候 | 担当者   | 参加者    | 記事        |
|------|---------|---------------|----|-------|--------|-----------|
| 2004 | 弥山・八経ヶ岳 | 6月11日<br>～12日 |    | 井戸 澄夫 | 清水，他1名 | （別稿詳報）    |
| 2005 | 比良へく谷   | 7月9日          |    | 鷲見 敏一 |        | （大雨のため中止） |

# 部 員 動 静

| 目 的 地                         | 月 日   | 天候 | 参 加 者          | 記 事  |
|-------------------------------|-------|----|----------------|--|
| 鈴鹿「那須ヶ原山」<br>三等△800m          | 6月23日 |    | 吉田 武           |  |
| 「東床尾山」<br>一等△839m             | 7月4日  |    | 吉田 武<br>津田 実   |  |
| 「熊伏山」<br>一等△1,653.5m          | 7月10日 |    | 吉田 武           |  |
| 衣懸山 806m                      | 6月26日 |    | 坂井 久光          | (京北町) 他2名  |
| 奥の谷山 811m                     | 7月3日  |    | 〃              | (美山町) 激励会  |
| 三 国 岳 959m                    | 7月5日  |    | 〃              | (久 多) 他1名  |
| 三 国 山 616m                    | 7月6日  |    | 〃              | (舞 鶴) 他2名  |
| 三 国 岳 776m                    | 7月10日 |    | 〃              | (美山町) 他1名  |
| 滝谷峠北尾根～<br>柳谷峠～今西レリ<br>ーフ・中津川 | 7月11日 |    | 〃              | (北 山) 他1名  |
| 釈迦岳・ボンボン<br>山                 | 7月9日  | 晴  | 鷺見 敏一<br>鷺見壽末子 | 前夜からの大雨により例会の比良へクタニ<br>沢登りをやむなく中止にしたものの、朝に<br>は雨もあがり天候も快晴となりのんびり山行に出掛ける。<br>東向日から善峰寺までタクシーを利用する。(バスは1日<br>3便しかないのでタクシー利用となる。)善峰寺門前から<br>川を渡って、釈迦岳への登山口より頂上へ向かう、グッショ<br>リとよい汗をかいた。ボンボン山からは東海自然歩道をの<br>んびりと高槻へ下山した。<br>(コースタイム)<br>10:15 阪急東向日タクシー — 10:34 善峰寺入口 …<br>10:05 大沢, 柳谷分岐… 11:13 釈迦岳△631.4m 11:20…<br>11:42 ボンボン山△678.7m (昼食) 12:00… 12:30 本<br>山寺… 神峰山寺… 13:30 神峰山口タクシー — 13:50<br>阪急高槻駅 |

# 報 雜

## △△△ 7月の集会

日 時 7月11日(月) PM6:30~8:00  
場 所 厚生会館 4F 小会議室  
出席者 (OB) 奥村, 坂井, 河村, 山下  
(本局) 岡田, 鷺見, 方山, 山元 (梅津) 吉田 以上9名  
内 容 例会報告, 45周年記念行事, その他

## △△△ 6月の企画運営委員会

日 時 6月20日(月) PM6:30~  
場 所 厚生会館 4F 会議室  
出席者 岡田, 鷺見, 三橋, 吉田, 奥村, 井戸  
内 容 例会予告, 岳連報告, その他(45周年記念行事)

## △△△ 臨時企画運営委員会

日 時 7月8日(金)  
場 所 厚生会館  
出席者 岡田, 鷺見, 大槻, 吉田, 大倉, 井戸  
内 容 ・45周年記念登山について  
・45周年記念名簿の作成について  
・45周年記念パーティ・記念誌の発行について

## △△△ 他山岳会の会報(受贈分)

6月号 愛宕ニュース, 比良山岳  
7月号 北山, 趣味の登山, 木雞, 山友, 京都山岳, 近畿山行, 一等三角点, 青嶺,  
比良山岳



△△△ 無雪期遭難救助訓練実施のお知らせ

下記により無雪期遭難救助訓練が実施されます。

1994（平成6）年度遭難対策事業

## 無雪期遭難救助訓練 実施要綱

（岩場での搬出）

京都府山岳連盟 遭難対策委員会

- 目 的 / 山岳遭難の防止と安全登山のために、京都府山岳連盟傘下の「救助隊員」「指導員」並びに各会員の、救助技術の向上を目的とする。
- 期 日 / 平成6年9月4日（日） 朝8時～15時
- 場 所 / 大原「金比羅岩場」（M・Kフェースなど）
- 内 容 / 40M以上の岩場で、負傷者を背負っての引き上げ・下降搬出。  
（「初級」及び「中級」／詳細は、当日発表）
- 参加対象 / 1. 連盟救助隊員 2. 連盟指導員 3. 岳連が承認した者。
- 用意するもの / ゼルプスト、カラビナ、テープシュリング（巾25m/m以上 or ダブルのテープ）、ロープシュリング（6m/mと7m/m）、エイト環、ユマール、手袋、ヘルメット、靴（ジョッキングシューズ）、昼食、雨具など。  
〔共同のザイル、プーリー、などは参加各会に割り当てます。〕
- 参加費 / 500円（保険代）
- 申込み / 梅津 吉田 武（654）
- 締 切 り / 8月10日
- 主 催 / 京都府山岳連盟／京都市山岳連盟／遭難対策委員会
- 後 援 / 京都新聞社／京都府警察本部

平成6年7月31日現在

部 員

122名

OB部員

近藤 薫  
森下 村重  
伊藤 潤治  
中村 維源  
牧 定夫  
田中 定勝  
山村 敏郎  
畑 照人  
石田 和男  
山下 周道  
坂井 久光  
奥村 弘信  
河村 清  
松岡伊太郎  
津田 実  
笈田 昭  
横井 襄二  
上田 隆  
村 宗松  
辻 久雄  
今井勇一郎  
石田 弘  
石川かず栄  
森本 清一  
楠 とし子  
木原 茂  
坂田 利春  
上島 和彦  
鷺見壽末子  
中山 忠之

本局

三浦 貞義  
渡辺 智生  
長谷川雅也  
宮川 勇  
出海 洋三  
足立 公弘  
木下 嘉造  
鷺見 敏一  
前田 文男  
山元 誠一  
大切 照男  
方山 宗子  
大槻 雅弘  
佐伯 康介  
三橋 勉  
沢井 佳三  
川原 傳治  
原田加津子  
上島 弘子  
立花 雅彦  
若山 裕孝  
広瀬光太郎  
鎌田 利雄  
竹田 勉  
大杉 雅晴  
和田 良一  
大塚 孝之  
政 道代  
平田 嘉輝  
馬淵 拓巳  
猪飼 康夫

岩野 誠司  
山岡 昭弘  
今道 力  
池田 茂生  
藤原 敬巳  
児玉 宣治  
徳野 治  
大野 滋久  
牧野 健  
柳田 晃  
井上 一夫  
関本 俊雄  
井戸 澄夫  
角田 敏昭  
山口 雅直  
田村 正弘  
伊豆蔵 清  
大沢 泰  
森塚 良郎  
岡田 茂久  
田中 繁行  
多田 義人  
室谷 和彦  
清水 康裕  
上村 次男

高速

石田 幸次  
広瀬 烈  
篠田 勝美  
今井 武夫  
矢野 聡

竹田

田村 忠司  
大倉寛治郎  
岡本 孝  
尾川原和彦  
松田 誠二  
清水 明  
井上 豊

西賀茂

横田 義一  
山田 富男

梅津

蛭子野俊雄  
吉田 武  
花岡 弘武  
阿部 義夫  
伊知地文男

五条

田中 明  
田中 忠久

烏丸

台川 敦美  
山本 俊夫

洛西

武田喜久郎  
竹井 章  
井口 寿雄  
谷口多加志  
服部 正義  
佐々木敏雄

醍醐

岡本 勇

横大路

岡本 義弘

錦林

竹村 芳広

九条

古市 昌造

市役所

荒田又之助  
西尾 直樹  
北田 貞雄

## 45周年記念登山の計画中止について

山 岳 部 長

京交山岳部では、奥美濃の能郷白山に創立25周年記念標柱を担ぎ上げたのを皮切りに、30周年に屋久島の宮之浦岳、35周年に利尻山、40周年には北緯40度近辺の山として、森吉山から岩手山、早池峰と周遊するなど、これまで山岳部創設の区切りの年にあたっては、できるだけ多くの部員が参加できるという山を選んで、記念登山を実施してきました。

45周年にあたる今年は、是非とも海外登山等も企画してなどと夢もみましたが、職域山岳会としては、多人数で多くの日数をとっての山行などは、やはり無理であると判断、今回も国内の山を対象とし、北海道道東の羅臼岳、斜里岳が選ばれ準備が進められてきました。当初の予定では6月下旬から7月に掛けて実施することになっていましたが、人事異動の関係で、急遽、8月の下旬に延期になりました。

ところが、折りから地下鉄東西線の建設費高騰、および、完成時期の大巾な遅れが大問題となり、このための臨時市議会まで開催されるという、重大事に至ってしまったことは部員諸氏も周知のことです。

どのような状況においても、趣味と仕事とは違うんだと割り切り、記念登山を予定通り実施することは、参加者の個々において業務を調整すれば確かに可能なことであると思います。

しかし、常々から仕事があって家庭があり、そして山であると述べてきているところでありませう。母体である職場が、リストラ等を含めて体制の立て直しが問われているという危機的状況において、多人数で多くの日数の休暇を取るという行為自体が、現情勢においては職域山岳会としてふさわしく無いことと、企画委員会での結論に達し、今回の羅臼岳、斜里岳の45周年記念登山は中止ということになりました。

記念登山を楽しみにしていた数十名の部員諸氏、周到な準備を進めて頂いていた実行委員の諸氏の気持ちを思うと、誠に忍びないことではありますが、なにとぞ諸般の状況を御賢察頂き、市民の足を預かる交通マンの職域山岳会として、記念登山中止に対する御理解をいただきたいと思ひます。

帆 布 ・ 濾 布  
テント ・ シート  
雨 合 羽  
**木村工業有限会社**

京都市中京区ミブ車庫前

TEL 801-5331 (代)

西大路営業所

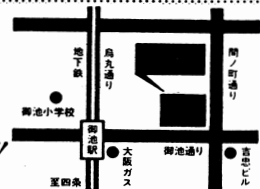
下京区西大路七条下ル

TEL 321-0251

登山とアウトドア専門店

**今、アウトドア派大集合!!**

- 登山用品はもちろん、注目のスポーツカーををはじめ、ひと味違う充実の品揃えは必見のもの!!



**ビッグホリイケ**

営業時間 AM10:00~PM9:00 (年中無休)  
京都市中京区御池通高倉西入(千代田生命京都御池ビル2F)  
☎(075)222-0363

京都で唯一の山の専門店

Now Outdoor sports

ハイキング&キャンピング・クライミング  
アウトドアウェア・US製用品  
ポータブル用品

**Mountain**

〒604 京都市中京区二鳥通河原町西入  
TEL 075(258)-0548  
営業時間 AM10:00 - PM8:00 毎週火曜定休  
(株) スポーツ コニシ

「修身」と言う古いなあど笑われるが、いいことも書いてある。「オヤヲタイセツニセヨ」から始まり、中に「イキモノヲクルシメルナ」というのがある。子供にとつてイキモノは友達であることは今も昔も変わりがあるはずがない。男友達と共謀して両親を殺害した北海道の女性、鴨に矢を射た東京のすさんだ砂漠都市など、いやな世の中になったものだど、戦中派の主人がボク(柴犬・七歳)の頭を撫でた。

制作 懶 北斗プリント社  
〇七五―七九一―六二二五

鮮の歯軋……………⑦

建設省国土地理院発行地図販売特約代理店  
国土地理院空中写真(カラー・白黒)取次  
通産省地質調査所発行各種地質図取扱店  
各種地図製作並びに印刷  
地形図は、20万・5万・2万5千とも全国を常備しております。

小林地図専門店

株式会社 **小林地図専門店**

〒600 京都市下京区<sup>あけず</sup>不明門通六条下る西側  
(烏丸通六条東 1筋目下る) ☎ (075) 351-6598

地下鉄：五条駅 5番出口・市バス：烏丸六条下車

結婚引出物・内祝・開店記念品・粗品  
仏事用お返し品・お中元・お歳暮用品

贈答品総合センター

厚生会指定

**サンコークラフト**

西 島 輝 雄

左・川端丸太町下る下堤町88  
TEL (075) 771-3442

平成6年8月1日

京都市中京区壬生坊城町48

京都市交通局内

**京交山岳部**